

【観光遺産産業化ファンド】 「株式会社はこだて西部まちづくRe-Design」に対する 投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、8月17日付で株式会社はこだて西部まちづくRe-Design（以下「当社」という。）への投資を実行するとともに、当社に対して専門家を取締役として派遣しましたことをお知らせいたします。なお、今回の投資は、本ファンドの第6号案件となります。

函館市西部地区は函館山麓に位置し、わが国最初の国際貿易港として海外に門戸を開いた函館発祥の地であり、異国情緒漂う歴史的建造物が立ち並ぶ街並みや函館港を臨む景観が非常に魅力的な地区として、観光客が多く訪れるエリアとなっています。一方で、近年の高齢化・人口減少等により町の活力が低下し、空地・空き家も増加している状況にあり、エリアの魅力を失いかねない状況となっています。

このような状況下、函館市では2019年7月に「函館市西部地区再整備事業基本方針」を策定し、将来像である「西部地区ならではのまちぐらしの実現」に向けた具体的な取組みの検討を進めてきています。また、2021年7月には函館市及び函館商工会議所を発起人として、函館市西部地区における歴史的建造物等に代表される地域資源や空地・空き家の利活用等を通じて、函館のブランド力を活用した「居住と観光が融合したまちづくり」を官と民が持つそれぞれの強みやノウハウを活かしながら一体的に取り組んでいくことを目的に当社が設立されました。さらに、本ファンドと同日付で地元事業者8社も当社への出資を実行し、函館市西部地区の新たなまちづくりに地域一丸となって取り組む体制を構築しております。

当社は函館市西部地区ならではのまちづくり事業を推進する核として、函館のブランドを活かした観光活性化を皮切りに、定住人口の回復と交流人口の底上げも含めた持続可能な観光地域づくりを通じた新しい地域活性化モデルの構築を官民一体となって行ってまいります。

本ファンドは、今後も地域活性化モデルを各地に展開するために、地域金融機関等に対して本ファンドで得た知見やノウハウの移転を図るとともに、あわせて観光関連産業の活性化においても機構の専門人材を活用したノウハウ移転を通じた支援を行ってまいります。

投資先の概要は以下のとおりです。

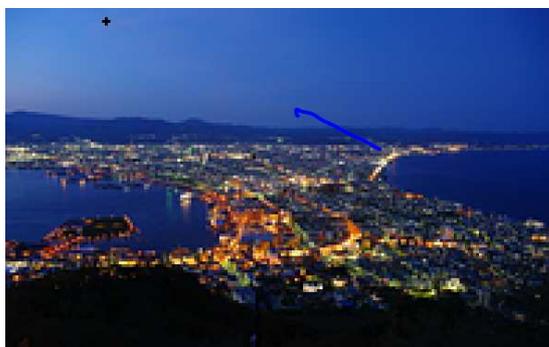
会社名	株式会社はこだて西部まちづくRe-Design
所在地	北海道函館市
代表者	代表取締役 北山 拓
事業内容	・函館市西部地区における遊休不動産を中心とした不動産利活用事業 ・まちづくり等に係る調査、計画、人材育成・養成事業 等

【参考資料】

歴史的建造物等が異国情緒漂う魅力的な街並みが魅力の函館西部地区エリア



函館市西部地区の代表的観光地である函館山の夜景及び八幡坂からの景観



【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html>

機構ホームページをご参照ください。

以 上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援部: TEL 03-6266-0590